

東京交通新聞 2008 年 11 月 3 日 (月)

<子ども参加しバリアフリー教室>

東運支局など

関東運輸局東京運輸支局は先月 26 日、杉並区立馬橋小学校で開催された「地域の交通安全ふれあいフェア」(主催=東京都など)で「バリアフリー教室」を行った=写真。

杉並区社会福祉協議会、京王バス東が協力した。

会場内に特設コーナーを設置し「高齢化社会に向けて手助けがしやすい環境をつくる心のバリアフリー」(東運支局)を広めることを狙いに参加を呼びかけ、60 人が同教室を体験した。

親子連れで参加した杉並区内の 40 代の主婦は「子供が車いすの苦勞を経験することで、日常生活でも乗っている人の手助けをするようになれば」と話していた。

東運支局は「施設面は充実してきたので心の面を伝えていきたい」とし、京王バス東の担当者は「一般のバス利用者に障害者の苦勞を知ってもらえれば」と強調していた。

